

当院にて症候群性頭蓋骨縫合早期癒合症の 矯正歯科治療を受けられた方へ

この度当院顎口腔外科・歯科矯正歯科が中心となり、症候群性頭蓋骨縫合早期癒合症（クルーズン病、アペール症候群など）のチーム医療に関する全国的な実態調査を行うことになりました。調査には全国26の医学部・歯学部附属病院、小児病院、総合病院、矯正歯科診療所の矯正歯科医が参加する予定です。東京大学医学部附属病院は主たる研究施設として、調査結果をまとめることになっています。

【対象となる方】

1985年7月1日～2015年6月30日の間に、本院顎口腔外科・歯科矯正歯科において、症候群性頭蓋骨縫合早期癒合症に対する矯正歯科治療を受けられた方

【研究の意義】

症候群性頭蓋骨縫合早期癒合症の治療には、脳外科、形成外科、口腔外科、矯正歯科など多くの診療科によるチーム医療を行う必要があります。しかし、これまでわが国においては、チーム医療の実態が判っておりませんでした。出生から成人に至るまでの医療の実態を知ることが、より効果的、効率的なチーム医療計画を考える上で、大いに役に立つと考えられます。

【研究の目的】

頭蓋顔面の外科手術と矯正歯科治療に焦点をあて、従来行われてきた治療の実態を明らかにします。

【研究の方法】

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記載されている手術、矯正歯科治療の記録、矯正歯科検査結果などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしい場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで平成27年10月31日までに御連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承くださいましたものとさせていただきます。

研究結果は全症例の集計結果として学会等で発表いたしますので、個人が特定されることはありません。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについては、学会等で発表した後に開示しますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医にお尋ねください。

平成27年7月

【研究機関名】

東京大学医学部附属病院 顎口腔外科・歯科矯正歯科
研究統括医師：東京大学大学院医学系研究科 准教授 須佐美隆史
(東京大学医学部附属病院は主たる研究施設となっています。)

東京大学医学部附属病院における本研究に必要な資金は、顎口腔外科・歯科矯正歯科の運営費を用います。参加施設の調査に必要な資金は各施設に負担します。調査対象者への謝金はございません。

【問い合わせ、苦情等の連絡先】

東京大学医学部附属病院 顎口腔外科・歯科矯正歯科 准教授 須佐美隆史
(診療科責任者：高戸毅)
住所：東京都文京区本郷7-3-1
電話：03-3815-5411 (内線 33714) FAX：03-5800-6832